

# 農林水産商工常任委員会提出資料

(令和7年1月23日)

項 目	ページ
■ 県有種雄牛「白鵬85の3」の病死について 【畜産振興課】……………	2
■ 第22期鳥取県内水面漁場管理委員会委員の任命について 【漁業調整課】……………	3
■ とっとりウニムースフェア2025～ウニを食べて海を守ろう！～ の開催について 【漁業調整課】……………	4
■ 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について 【農地・水保全課】……………	5

農 林 水 産 部

# 県有種雄牛「白鵬85の3」の病死について

令和7年1月23日  
畜産振興課

鳥取県の畜産業に多大な貢献をした鳥取県畜産試験場の種雄牛「白鵬85の3」が、令和6年12月22日に、病気のため14歳11か月で永眠しましたので報告します。

## 1 生い立ちと功績について

名 号：「白鵬85の3（はくほうはちじゅうごのさん）」  
産 地：東伯郡琴浦町（平成22年1月3日生）  
血 統：父「勝忠平（かつただひら）」、母「みどり」  
生産状況：精液製造本数46,007本、販売本数34,870本（令和6年12月現在）  
産子生産頭数14,059頭、登録雌牛頭数3,851頭

「白鵬85の3」は、平成22年1月3日に琴浦町の生田英則氏方で生まれ、同年7月に鳥取県畜産試験場が種雄候補牛として購入した。平成26年12月に終了した現場後代検定試験(※)のBMS(脂肪交雑)9.6は、当時日本一の成績を記録するといった結果を残したため、平成27年1月22日に鳥取県和牛生産肉能力検定委員会で種雄牛として選抜し、基幹種雄牛となった。

### <主な功績>

項 目	内 容
第11回和牛全共宮城大会での肉質日本一の獲得	平成29年9月に開催された第11回全国和牛能力共進会の第7区総合評価群の交配種雄牛として、優等賞2席（種牛群順位5位、肉牛群順位1位）を獲得し、肉質日本一となる。
令和2年、3年の和子牛価格日本一達成への貢献	鳥取県和子牛せりに、「白鵬85の3」の産子を求めて全国から多くの購買者が来場したことで、令和2年、3年の鳥取県和子牛平均価格は全国1位となった。
鳥取県和子牛せりで鳥取県歴代最高価格を記録	鳥取県中央家畜市場の和子牛せりで、「白鵬85の3」を父とする雌子牛が8,917,700円で落札され、鳥取県歴代最高価格を記録した。

※現場後代検定試験：種雄牛の産肉能力（肉量、霜降りの入り具合等）の遺伝する能力を調べるため、種雄牛の子供（15頭以上）を農家等で肥育をして出荷し、枝肉成績をもとに産肉能力を確認する能力検定成績のこと。この検定試験結果の優劣で種雄牛の能力評価が行われる。

## 2 病状及び経過

「白鵬85の3」は、令和6年11月末に第1胃鼓脹症を発症し徐々に元気消失、衰弱するなか治療を施したが、令和6年12月22日に第1胃鼓脹症と盲腸拡張症による呼吸障害により死亡した。

## 3 精液在庫と今後の利用について

凍結精液は、現在約1万本の在庫が畜産試験場で保管されており、残された精液の有効利用を図るため、令和7年2月下旬に開催予定の鳥取県和牛振興会議遺伝資源管理部会において、今後の種雄牛造成への活用や農家への配布方法を検討する。

## 4 「白鵬85の3」の後継牛

「白鵬85の3」の息子である種雄牛は、「智頭白鵬（ちづはくほう）」、「百合鵬2（ゆりほうに）」の2頭のほか、現在現場後代検定実施中の「美鵬2（みどりに）」、「登鵬1（とうほういち）」といった種雄牛候補も2頭誕生しており、今後の活躍が期待される。

## 5 「白鵬85の3」のお別れ会の開催について

生前の貢献への感謝と慰霊のため、生産者、関係者によるお別れ会を開催する。

日 時：令和7年1月28日（火）午後1時30分～

場 所：東伯郡琴浦町赤碕1140-1 琴浦町役場分庁舎

琴浦町赤碕地域コミュニティセンター・多目的ホール

主 催：白鵬85の3のお別れ会実行委員会

（共催：鳥取県、公益社団法人鳥取県畜産推進機構）

## 第22期鳥取県内水面漁場管理委員会委員の任命について

令和7年1月23日

漁業調整課

第22期(令和7年1月1日～令和10年12月31日)委員として、下記の者を任命しました。

- 県内内水面における水産動植物の採捕及び増殖に関する事項を円滑に処理するため、行政委員会として漁業法第171条、地方自治法第180条の5に基づき設置されています。
- 内水面漁業が、自然環境の保全、地域社会の形成・維持、教育・交流の場の提供といった多面的機能を有することを踏まえて、多様な意見と経験を十分に反映することができる方々を委員として任命しました。
- 1月17日:辞令交付式、第296回鳥取県内水面漁場管理委員会を開催

### 1 委員一覧

区分	氏名	年齢	所属(役職)等	任期
漁業者代表 (4名)	ふくた かずや 福田 一哉	62歳	日野川水系漁業協同組合(副組合長理事) 日野川の源流と流域を守る会(監査役) 日南の水を守る会(副会長) 日南町商工会(会長)	新任 (1期目)
	ながはら さとる 永原 聡	65歳	千代川漁業協同組合(理事兼河川環境整備委員長) 若桜町社会福祉協議会(会長)	新任 (1期目)
	じくはら よしお 竺原 吉男	44歳	天神川漁業協同組合(理事)	再任 (2期目)
	なかむら たかし 中村 貴志	45歳	東郷湖漁業協同組合(理事)	新任 (1期目)
遊漁者代表 (2名)	みに 三谷 るみ	52歳	社会福祉法人あすなる会(介護職員)	再任 (2期目)
	やまさき ひろこ 山崎 寛子	63歳	株式会社荒谷建設コンサルタント(職員)	再任 (2期目)
学識 経験 (2名)	おおたに みちこ 大谷 道子	57歳	日野川水系漁業協同組合(職員)	再任 (2期目)
	しもだ ゆかり 下田 由歌理	40歳	日ノ丸自動車株式会社(職員) (元公益財団法人鳥取県栽培漁業協会職員)	再任 (2期目)

### 2 内水面漁場管理委員会について

#### ■内水面漁場管理委員会とは

水産資源の持続的な利用の確保、水面の総合的な利用をもって、漁業生産力の発展に資するため、県内の内水面における水産動植物の採捕養殖及び増殖に関する事項を処理すること。(漁業法第1条、第171条)

#### ■委員会の所掌事項

- (1) 漁業権の免許、調整規則、増殖計画、採捕許可の制限等に関する県からの諮問に対して答申する。
- (2) 漁業権の免許内容等について県に建議する。
- (3) 水産動植物の繁殖保護、漁業権や入漁権の行使の適切化、漁場紛争の防止解決のため、独自に指示を出す。
- (4) その他漁業に関する協議・調整を行う。

#### ■委員定数:8名

各都道府県の内水面漁場管理委員会の委員定数は、基本的に10名(漁業法第172条)。ただし、農林水産大臣が必要と認めた場合は委員会ごとに別段の定数を定めることができ、令和2年7月8日農林省告示第1281号「都道府県に置かれる内水面漁場管理委員会の委員の定数」により、鳥取県は8名と定められている。

#### ■委員報酬

鳥取県知事等の給与及び旅費等に関する条例 第2条により規定(会長:日額17,300円、委員:日額15,300円)

#### ■委員の要件

- ・漁業を営む者を代表すると認められる者(漁業者代表)
  - ・水産動植物の採捕、養殖又は増殖する者(漁業を営む者を除く。)を代表すると認められる者(遊漁者等代表)
  - ・学識経験がある者(学識経験者)
- (構成比) 地域の実情に応じて定める(第21期の内訳:漁業者代表3名、遊漁者等代表2名、学識経験者3名)

# とっとりウニムースフェア2025～ウニを食べて海を守ろう！～の開催について

令和7年1月23日  
漁業調整課

大量発生により藻場衰退の原因となるため駆除目的で採捕されているムラサキウニを、漁業者が県産野菜等で育て利活用を図っているところですが、この度、そのムラサキウニを使用したムース状のオリジナルメニューを数量限定で提供する「とっとりウニムースフェア」を開催しますので報告します。

## 1 「とっとりウニムース」とは

鳥取県漁協がJA鳥取中央倉吉秋冬野菜部会、全農とっとりから提供いただいたキャベツ、ブロッコリー等で蓄養した「ムラサキウニ」を用い、参加する各店舗が工夫を凝らして開発したムース状のオリジナルメニュー。

### 「とっとりウニムース」メニューの5カ条

- ① メニュー名は「鳥取ウニと□□の○○（※）」とするけえ  
※ □□にコラボさせる鳥取の海の恵みの名称、○○に料理名を入れる。
- ② ここいらの藻場をめいどるムラサキウニを大切に育てて使うけえ
- ③ ウニムース×鳥取の豊かな海の恵みを使って美味しくするけえ
- ④ 丸形の料理で、ウニを転生させるけえ。ウニも喜ぶでえ
- ⑤ おいしく食べて藻場再生！食べた人が笑顔になるメニューにするけえ

## 2 「とっとりウニムースフェア」の概要

- (1) 期 間 令和7年2月18日（火）から2月24日（月・祝）まで
- (2) 参加店舗 蓄養ウニのメニュー開発に尽力いただいたぎんりんグループの5店舗及び趣旨に賛同いただいた鳥取市内の店舗 合計17店舗
- (3) 趣 旨 フェア期間中、数量限定で、鳥取の海の恵みなどとコラボさせたウニムースメニューを提供いただく。メニュー提供とあわせて、ムラサキウニによる海藻の食害など、本県の海の課題についてメッセージを発信し、県民の海への関心を高める。
- (4) 実施主体 鳥取ブルーカーボンプロジェクト「豊かな海の再生を目指して」実行委員会  
(鳥取県漁業協同組合、鳥取県栽培漁業協会、鳥取県、農林中央金庫等)  
共催：日本財団「海と日本プロジェクト」  
※日本財団「海と日本プロジェクト」の助成事業（令和4年度から6年度）を活用

## 3 鳥取ブルーカーボンプロジェクト「豊かな海の再生を目指して」の今年度の主な取組

地域とともに鳥取の豊かな海を取り戻すことを目的に、藻場の衰退の要因となっているムラサキウニを切り口にした以下のイベントや環境学習を実施。

期 日	取 組
5月14日	鳥取県立青谷高校（3年生）青谷学Ⅱで商品価値が見込めるウニを探索するため、場所や時期によるウニの身入りの違い調査を開始
5月28日	湯梨浜町立泊小学校で生きたムラサキウニとのふれあい学習（3年生）
7月15日 (海の日)	「とっとり海のごちそう祭2024」開催（鳥取港）
9月4日	鳥取県立青谷高校（2年生）青谷学Ⅰで長和瀬漁港を視察
9月11日	同校青谷学Ⅰでウニ・サザエ・ワカメを用いた調理実習「磯のめぐみパスタ」作成
10月16日	同校青谷学Ⅰでウニ駆除と駆除されたウニを試食する体験学習
11月9、10日	海のごちそうフェスティバル（東京）で漁業者が蓄養したウニを使った「とっとりウニポタージュ」の販売とともに鳥取の海の現状や課題を発信
12月6日	鳥取市立青谷小学校（全学年児童）と鳥取市立青谷中学校（全学年生徒）で環境学習及び「藻場の恵みご飯（※）」と「アカモク汁」の給食を提供 ※蓄養したウニに藻場の恵みであるサザエを加えた炊き込みご飯
12月8日	第10回全国ユース環境活動発表大会中国大会（広島）で青谷高校3年生が「厄介者からお宝を探そう！」（時期や場所によるウニの身入りの違い）を報告し、審査員特別賞を受賞

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

令和7年1月23日  
農地・水保全課

【変更分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由
農地・水保全課 (東部農林事務所)	広岡地区地域ため池(広岡溜池)改修工事(2工区)	鳥取市 広岡	株式会社大谷組 代表取締役 大谷 廣秋	(当初契約額) 91,630,000円	令和5年10月11日 ～ 令和6年6月26日	(当初契約年月日) 令和5年10月11日	
				(第1回変更後契約額) 135,212,000円  { (変更額) 43,582,000円 }		(第1回変更契約年月日) 令和6年2月21日	・ICT活用工事の対象としたことによる増額。 ・土取場(放牧場)の復旧に当たり、掘削時に発生した転石を小割して埋戻処分したこと及び放牧場として機能回復するための埋戻土を他工区から流用したことによる増額。
				(第2回変更後契約額) 154,840,400円  { (変更額) 19,628,400円 }	令和5年10月11日 ～ 令和6年11月29日	(第2回変更契約年月日) 令和6年6月25日	・旧堤体を掘削したところ軟弱層が確認されたため、掘削面が崩壊しないよう緩勾配での施工に変更したことに伴う掘削土量及び残土処分量の増に伴う工事費の増額。 ・上記、軟弱層の対応に伴い周辺の耕作道を利用する必要が生じたことから地元関係者との調整に不測の日数を要したことによる工期の延伸。
					令和5年10月11日 ～ 令和6年12月26日	(第3回変更契約年月日) 令和6年11月29日	・底樋設置箇所付近の地盤改良予定部の土質変化に伴い、配合試験、貫入試験(実施～判定)に不測の日数を要したことによる工期の延伸。
				(第4回変更後契約額) 179,051,400円  { (変更額) 24,211,000円 }		(第4回変更契約年月日) 令和6年12月19日	・ため池工事における土工(掘削及び盛土)作業について、ICT建設機械にて施工実績を確認したことによる工事費の増額。